

# JUN通信

高木 純の市政だより

## えっ! 鴨島東中と市立川島中学校がなくなる?

学校再編策定委員会で計画作っています



小学校は一四校から六校に減らす?  
 学校が遠くなって子供がたいへんです

市の教育委員会は、市内の小中学校を再編するために、「学校再編計画策定委員会」を設置し、本年九月末までに八回の委員会を開いています。

現在までに明らかになっている計画案は、市内の小中学校を激減させる内容になっています。

### 中学校は四校から二校に

中学校は鴨島町に二校ありますが、鴨島東中学校を廃校にして、鴨島一中の一枚にまとめ、川島中学校も廃校し、川島町の中学生は山川中学に通学することになっています。

また、小学校は市内に四校あったのを六校にします。

### 鴨島東中校舎を小学校に

鴨島町は、上浦小学校、牛島小学校、森山小学校をまとめて一枚にして、鴨島東中学校の校舎を使います。知恵島小学校は鴨島小学校に吸収されます。西麻植小学校も飯尾敷地小学校に吸収されます。

川島町は、これまで二校だったのが一枚になり、校舎は川島中学校を活用します。

川島町は、川田小学校、川田小、川田西小に加え美郷の種野小学校の四校を統合して校舎は川田中小学校を使います。

『左図参照』

「学校再編計画策定委員会」がこれだけ学校数を減らす理由が生徒数の減少によるものですが、これでは子供の通学距離が大変です。

小学校まで歩いて一時間半も

例えば、これまで牛島小学校に通学していた子供は、通学距離が三キロを超える場合があります。

川島では、小学校が一枚になり一番遠い子供は3.7キロの通学距離になります。

山川では川田西小学校に通っていた子供が川田中小に通学すると川田駅付近からだと

3.5キロの距離になります。

### 遠くて子供がたいへん

徒歩の時は大人でも四キロです。低学年の小学生は二キロ以下だと言われています。通学距離が三キロを超えれば通学時間は一時間半以上かかります。

中学生も大変です。

鴨島では上浦から鴨島一中に通学する場合、距離は6キロで、自転車でも四十三分です。これは東中までの二倍です。

### 片道一〇キロ! 遠すぎる!

もっと大変なのは川島町の中学生です。川島には県立中学校がありますが川島からこの中学校に入学しているのは五、十二人ぐらいですから、一年四〇人ぐらいが(平成三十年の予想で)山川まで通うことになります。川島町山田付近から山川中までは片道一〇キロです。あまりにも遠すぎます。

### 通学距離を考えてない?

学校再編計画策定委員会がこのような案を出した理由の一つに生徒数の減少をあげていますが、通学距離などを考えているとは思えません。

### 納得できません!

この計画案は最終的には教育委員会が決定することになっていますが、このまま決められては子供の通学が大変です。『納得できない!』という方が多いのではないのでしょうか。

吉野川市議会議員

高木 純



小学校の再編案(児童数はH30年の予想)

学校名	児童数	活用施設
上浦小学校 牛島小学校 森山小学校	291	鴨島東中学校
鴨島小学校 知恵島小学校	501	鴨島小学校
川島小学校 学島小学校	346	川島中学校
山瀬小学校	195	山瀬小学校
川田小学校 川田中小学校 川田西小学校 種野小学校	199	川田中小学校
飯尾敷地小学校 西麻植小学校	260	飯尾敷地小学校